

一般質問



中塚 議員

○商工会議所でのイベント事業発注について

質 各事業においての事業者選定基準と監査体制は万全か。地元イベント事業者は優先されているか。

地域経済活性化課長 業者の選定基準

については、実績などを踏まえつつ、価格見積りなどの競争意識の下で、最終的には各主催者の判断により業者選定が行われているものと認識しています。監査体制については、イベントの主催団体の組織の中で監査機能が徹底されているものと認識しています。市が補助金を交付する場合には、事業内容の妥当性を確認し、事業完了後には、事業内容や補助金の対象経費を含む決算内容などの妥当性について審査を行っています。商工会議所が補助金を交付される場合は、監査状況を商工会議所で確認されているとのことですが、発注については、地元業者の優先利用が図られているものと受け止めています。このことについては、地域経済活動の面でも重要な観点であることから、改めてイベントの主催者にに対し、可能な限り地元業者を優先していただくよう働きかけを行っていきます。

○不老山災害復旧工事に関する諸問題について

質 地滑り復旧状況と不老山公園の再開園と上高野地区など例年大雨に見舞われる地域の防災対策はどうなっているのか。

建設課長 長崎県において、現在、

本格的な対策工事の発注準備が進められています。本年度から着手される対策工事は、厳しい現場条件下での工事となることから、現時点では市道を利用できるようにするのは令和6年度中と見込まれています。

市長 不老山総合公園については、

被災直後から復旧までに相当な時間がかかるということが判明していたので、何らかの対応策がないか検討をしてきましたが、現状においては頂上に上ることは難しいと判断をしているところですが。

防災課長 防災対策については、上

高野地区に限らず、大雨などによる災害発生のおそれがあり、市民の方から依頼があった場合には、消防団に対し、警戒巡視、土のう積みなどの出動依頼を行うなど災害対応に当たっていききたいと考えています。

福島診療所ジェネリック問題につきましては、薬剤の高額購入および契約方法にさらなる疑惑が深まりましたので、議場において、議会として松浦市へ第三者調査委員会設置を議長へ直訴いたしました。

一般質問



大橋 議員

○福島診療所の経営状況について

質 平成29年度から令和3年度までの5年間に於ける市からの一般会計繰入額をお答えください。

健康ほけん課長 平成29年度は68

00万円、30年度は6716万円、31年度は8323万7千円、令和2年度は8732万1千円、3年度は1億26万7千円です。

質 売上高に対する人件費の割合を労働分配率といいます。福島診療所における今の同じ5年間に於ける労働分配率をお答えください。

健康ほけん課長 平成29年度は10

3・1%、30年度は107・1%、31年度は120・3%、令和2年度は124%、3年度は122・4%です。

質 令和4年度の当初予算における繰入金額と労働分配率をお答えください。

健康ほけん課長 令和4年度当初予

算における繰入金額は1億2628万2千円です。労働分配率は130・2%となっています。

○星鹿地区における「地域おこし協力隊」の取組みと展望について

質 地域に根差した後継者の育成を

行っていく上では、周囲の農家さんらと共に交わりながらアールスメロンに限らず、さまざまな種類の栽培を学んでいってはどうかと思えます。この隊員の期間が2年半ぐらいありますが、その点はどのような計画になっていますか。

農林課長 松浦メロン部会と連携し

てアールスメロンの研修を行っていただきます。また、安定して収入を得るために、他の作物でも収入を得ていただく必要もあるので、市内の、主に野菜農家への訪問、研修を実施していきたいと考えています。

質 以前、部会長を務めておられた農家さんが、メロンは難しいと、メロンはばくちだというふうにおっしゃっておられました。自然、天候に左右されるようなばくちを、あえて難しいメロンを選定された理由は何でしょうか。

農林課長 星鹿地区は、本市におけるメロン、ブドウの中心的産地であり、高いブランド力を誇っています。

また、「松浦の極み」にも選定されておられ、ブランド力を維持していくためにも松浦メロンの果たす役割は大きいと感じています。しかし近年、生産者の高齢化と後継者不足、生産量の減少が課題となっており、その課題解決を図り、人口増加と地域活性化につなげたいとの思いからこの事業に取り組むこととしました。